

速報版

平成16年6月25日

平成16年

台風6号による那賀川の出水状況



▲
那賀川橋〔基準地点古庄〕(7.0km付近)
〔平成16年6月21日午後2時30分頃〕 ▶

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

注) 本資料における数値については、平成16年6月25日現在の速報値であり、
今後修正される可能性があります。

気象の概要

平成16年6月13日午後9時にミクロネシア連邦のカロリン諸島付近で発生した台風6号は、21日午前9時30分頃、高知県室戸市付近に上陸し、強い勢力(中心の気圧965ヘクトパスカル、中心付近最大風速35m/s)を徐々に弱めながら毎時約50kmの速度で北北東に進み、徳島県に続いて淡路島付近を通過し、兵庫県明石市付近に再上陸しました。その後、近畿地方を横断して北陸地方に達し、22日午前3時頃津軽海峡の西海上で温帯低気圧に変わりました。

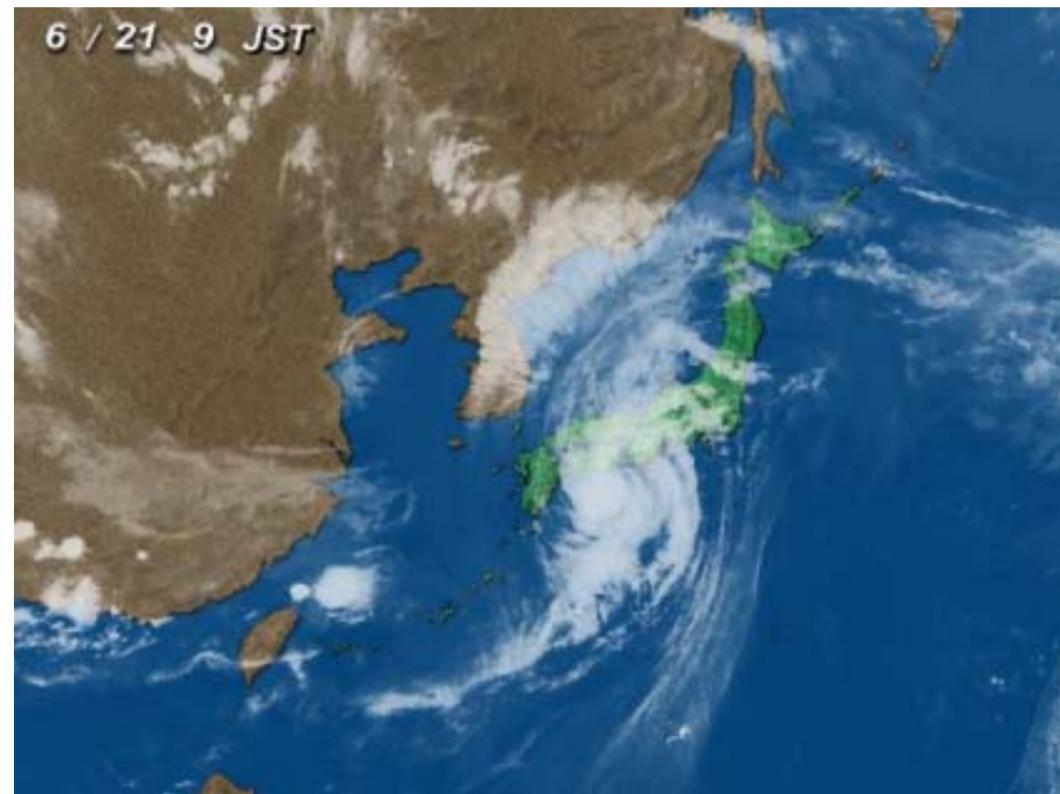
那賀川流域において19日正午頃から降り始めた雨は、21日午前4時頃に強まり、台風が接近した同日午前5時頃から午前10時頃までは、中～上流部で1時間に30～50mmの強い雨が続きました。

那賀川流域における主な地点の総雨量(19日～21日)は、以下のとおりです。

海川 620mm(四国電力(株))
 沢谷 505mm(国交省)
 名古ノ瀬 496mm(徳島県) ():観測所所管

なお、台風6号における那賀川流域(古庄上流流域平均)の総雨量は360mm程度であり、この値は6月の平均的な1ヶ月分の降水量に匹敵します。

気象衛星ひまわりの画像(6月21日午前9時現在)



気象庁提供

台風6号進路図(気象庁発表)

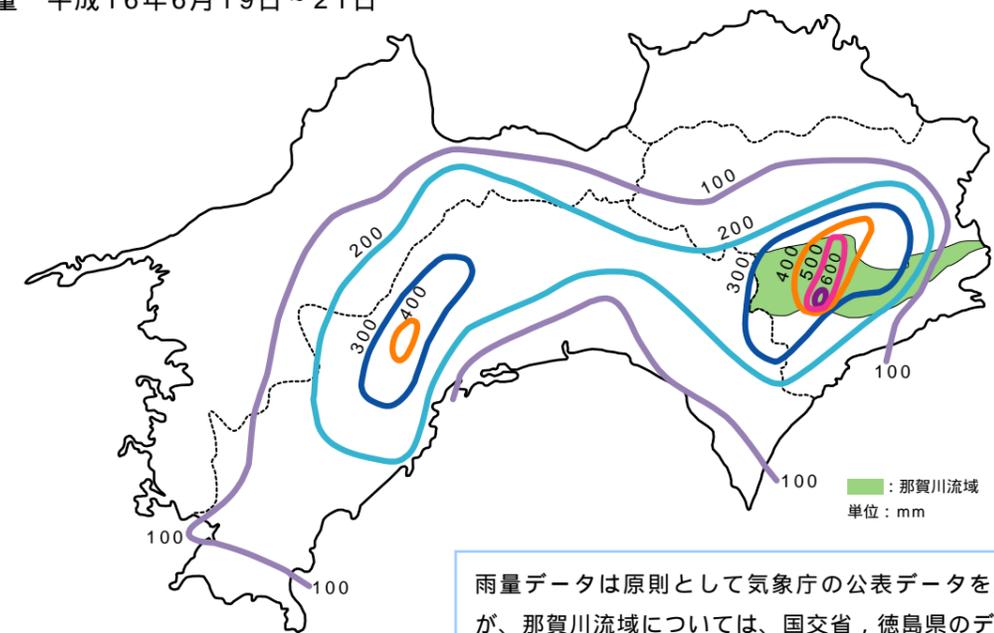


台風6号経過一覧(6月13日～21日)

- 13日21時00分 台風6号発生
- 21日 1時30分 大雨洪水警報発表(気象庁)(徳島県全域)
- 8時00分 那賀川事務所 注意体制
- 8時10分 水防警報(準備)発令
- 9時30分頃 台風6号室戸市付近上陸
- 10時40分頃 指定水位(3.50m)到達(古庄)
- 11時40分 水防警報(出動)発令
- 12時00分 那賀川事務所 警戒体制
- 12時00分頃 警戒水位(5.00m)到達(古庄)
- 12時17分 大雨洪水警報解除(気象庁)
- 14時00分頃 最高水位(5.87m)記録(古庄)
- 16時50分 水防警報(解除)発令
- 17時00分 那賀川事務所 警戒体制解除
- 20時00分 那賀川事務所 注意体制解除

台風6号等雨量線図

総雨量 平成16年6月19日～21日



雨量データは原則として気象庁の公表データを用いたが、那賀川流域については、国交省、徳島県のデータを追加して精度の向上を図った。

那賀川の出水状況

那賀川では、総雨量が中～上流域で300～500mm程度、下流域では100～300mm程度と激しい降雨を記録しました。

このため、那賀郡羽ノ浦町の古庄水位観測所(基準地点)では、21日正午頃に警戒水位を越え、午後2時頃には最高水位(5.87m)を記録し、最大流量は約4,900m³/s(注)に達しました。なお、午後4時40分頃に警戒水位を下回るまでの約5時間の長時間にわたり警戒水位を越えました。

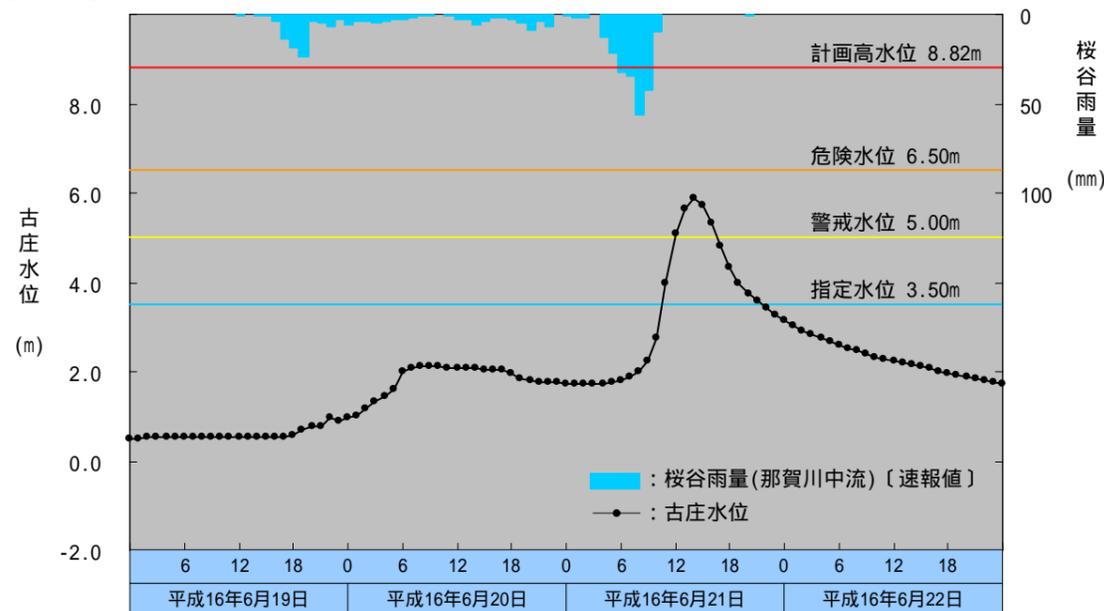
また、おおむね同一経路である昨年8月に発生した台風10号と比較すると、今回の台風6号の方が若干小規模であり、通過に要した時間も短かったため、出水規模も小さくなりました。

注：最大流量は流量観測による速報値である。

平成15年8月台風との比較

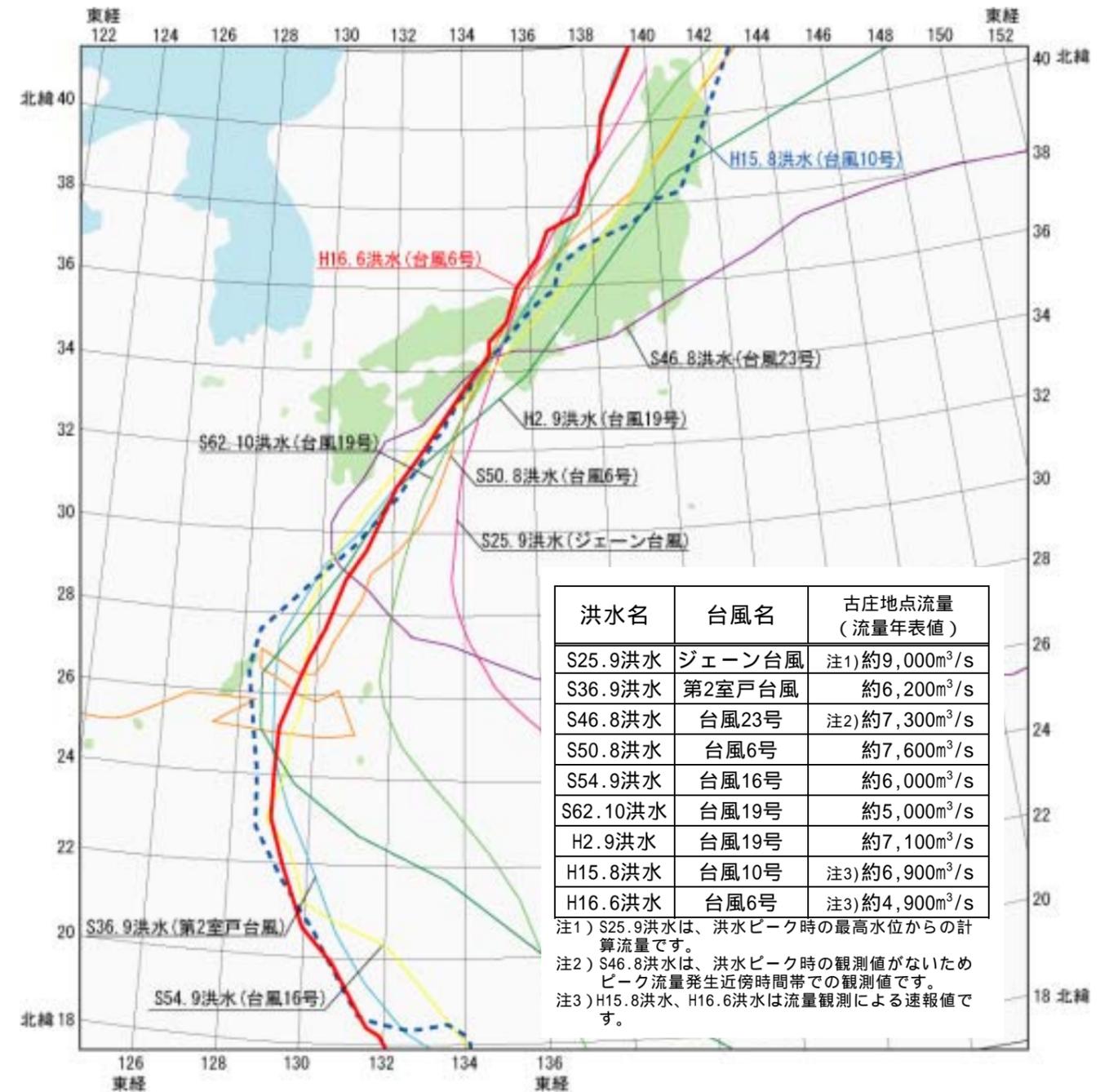
項目	平成16年 台風6号	平成15年 台風10号
出水期間	6月19～21日	8月7～9日
古庄最高水位	5.87m	6.93m
古庄最大流量	約4,900m ³ /s	約6,900m ³ /s
古庄上流流域平均総雨量	約360mm	約500mm
中心気圧 (四国上陸時)	965hPa	950hPa
警戒水位を上回った時間数	約5時間	約11時間

雨量・水位グラフ



歴代の台風経路との比較

台風6号は、高知県室戸市付近に上陸し那賀川流域を直撃するコースをたどり流域に強い雨を降らせました。過去にも昨年8月の台風10号をはじめ、このようなコースを通過した台風があり、台風6号と同様に那賀川流域に強い雨を記録し、いずれも古庄地点(基準地点)でおおむね5,000m³/sを超える大きな洪水が発生しています。



被災状況

那賀川の直轄管理区間では無堤地区等の阿南市内5地区(①加茂谷,②深瀬,③吉井,④楠根,⑤持井)における浸水被害を始めとして、⑥阿南市吉井地区(右岸14.8km付近)、⑦阿南市柳島地区(右岸5.9km付近)および⑧那賀川町赤池地区(左岸3.5km付近)の根固め流出などの被害が発生しました。

被災箇所位置図



■那賀川本川の洪水状況



▲那賀川橋〔基準地点・古庄〕(7.0km付近)



▲阿南工業用水取水塔(6.0km付近)



▲持井橋上流(11.4km付近)



▲楠根救急排水機場〔排水状況〕(12.5km付近)



▲南岸堰の越流状況(13.0km付近)



▲十八女橋(17.8km付近)

〔平成16年6月21日午後2時頃〕

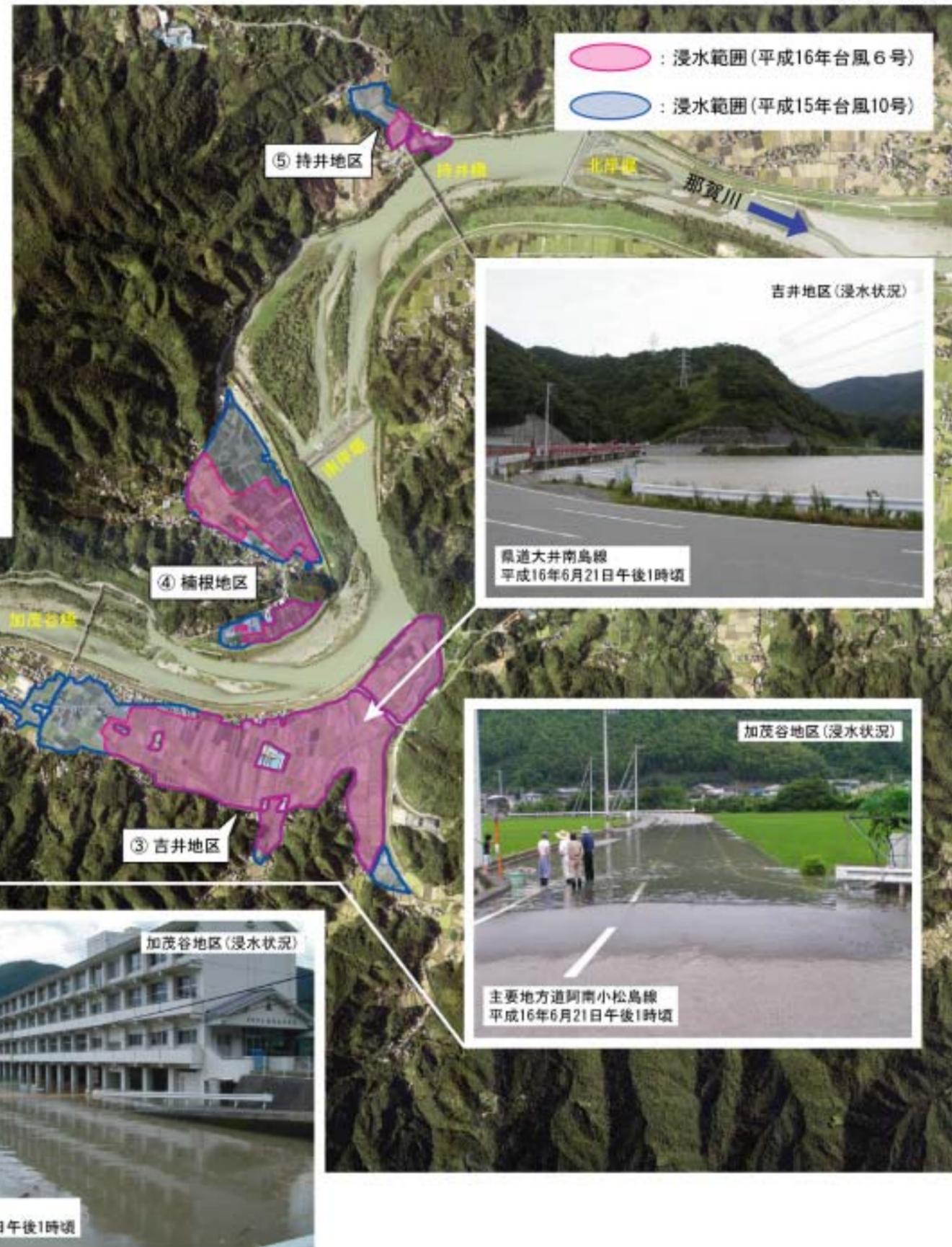
浸水被害の状況

那賀川では、阿南市吉井地区を始めとした5地区で浸水被害が発生しました。5地区における被害状況は下表のとおりです。浸水面積の合計は約102.4haであり、浸水家屋は発生しなかったものの、昨年の台風10号に引き続き、大きな浸水被害が発生しました。

地先名	河口からの距離	浸水面積 (注1)		備考
		H16	H15	
加茂谷	17.0km付近	約25.4ha	約38.1ha	無堤地区 (本川からの流入による浸水)
深瀬	16.4km付近	約2.3ha	約5.8ha	無堤地区 (本川からの流入による浸水)
吉井	14.0km付近	約59.9ha	約75.2ha	無堤地区 (本川からの流入による浸水)
楠根	13.0km付近	約13.1ha	約26.4ha	堤防締切地区 (内水氾濫による浸水)
持井	11.0km付近	約1.7ha	約4.2ha	無堤地区 (本川からの流入による浸水)
合計		約102.4ha	約149.7ha	

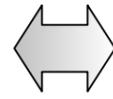
注1) 浸水面積：那賀川河川事務所調べ

■ 浸水区域図

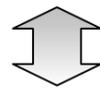


浸水地区の写真

加茂谷地区



加茂谷中学校



加茂谷中学校屋上から南西を望む

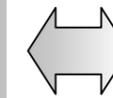
楠根地区



持井地区



深瀬地区

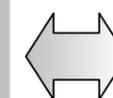


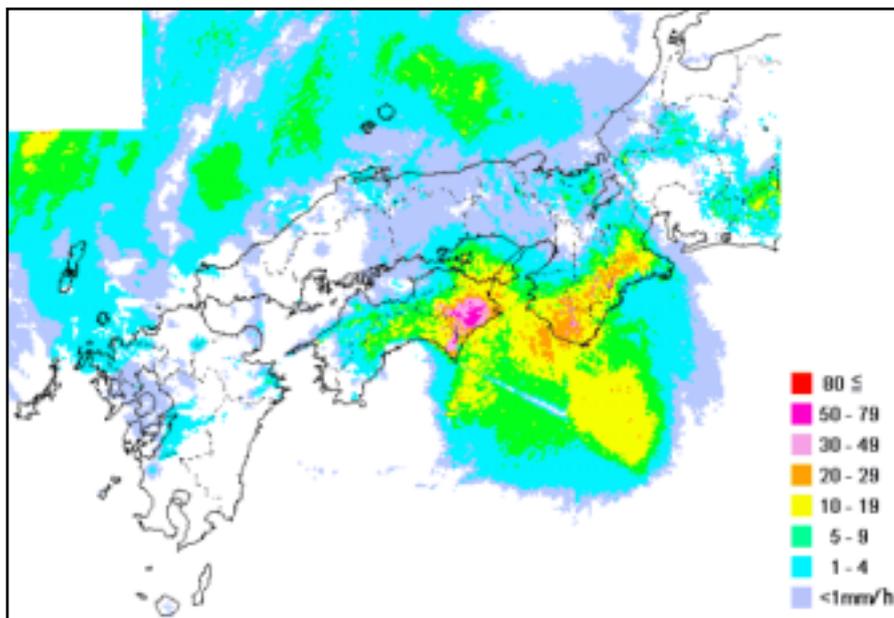
中央橋

吉井地区



県道大井南島線





降雨量実況図（気象庁提供）

〔平成16年6月21日午前9時00分〕

那賀川・桑野川のこと もっと知ってみませんか？

なかがわ流域
イベント情報 掲載中♪



那賀川河川事務所ホームページ
<http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/>

TEL (0884)22-6461 FAX (0884)22-7062